

(様式 7)

令和 4 年度柏市地域活動支援補助金 活動報告書			
団体名		千代田町会	
代表者			
事務所所在地			
担当者 連絡先	氏名		
	住所		
	電話		
	Eメール		
会員数		1,013 世帯 (役員 6 人)	
補 助 金 対 象 事 業 に つ い て	分野〔防災・防犯〕事業名〔「防災連絡網整備による災害対応力向上」事業〕		
	①事業の目的（解決すべき地域課題等）		
	町会で進めている自主防災活動（安否確認を含む）の基盤となる災害時連絡手段を今後 3 年をかけ強化し、実効的な災害時連絡網を整備すると共に、町会員への自主防災意識浸透と防災行動の定着を図る。		
	②事業実施内容（対象事業についてのみ記載）		
	※概要，実施時期，参加人数等を具体的に記入，写真等も添付可		
	1) デジタル簡易無線機の町会各所（班長宅）への配備：10 月 1 日、全 18 班中 8 人の班長に無線機を配備。		
	2) 無線機操作講習と交信訓練：10 月以降毎月の定例班長会議で未配備班長にも操作訓練を実施。会議後配備班長宅-事務所間で交信訓練実施。		
3) 無線機を使用した防災訓練：10 月 23 日、班長、組長（77 名）含む町会員全世帯を対象とした安否確認プレート掲出／確認、無線機による状況報告訓練を実施。			
4) 無線機使用を加味した自主防災組織運営方法の見直し：役員による毎月定例の防犯・防災調査／会議で継続検討中。			
③この事業に携わった団体関係者			
※人数，肩書，募集方法等を具体的に記入			
千代田町会役員 5 名			
町会班長 18 名			

補助金対象事業について	④ 目標達成度 ※別紙「実績報告書類記入上の注意」の2ページを参照		
	災害連絡網冗長化、強化		
	目標①	達成度 B	【特記事項】冗長化の度合い／強化という点では十分と言えないが、潜在的な課題を具体的な形で可視化でき、今後に向けた手掛かりが多く得られた。
	共助に基づくコミュニティ力活性化		
	目標②	達成度 C	【特記事項】目に見える「もの（無線機）」での活動は、良くも悪くも関心をひきやすく、コンセプトの理解を得やすいと感じた。
	自主防災活動、訓練への意識向上		
	目標③	達成度 C	【特記事項】日常的な活動が重要で、本取り組みはその点で発展性があると思われる。
	目標④	達成度	【特記事項】
	目標⑤	達成度	【特記事項】
⑤ この事業の今後の継続について、次年度以降の目標について			
デジタル簡易無線機を現在未配備の班にも配備すると共に、イベントなどでの使用も含め、より多くの人により身近に利用できる場面を増やしていく。また、付随する広報活動も強化していく。これらを通じ、身近なコミュニティへの意識向上を図る。			
⑥ 同様の事業を行う予定の団体へのアドバイス			
本事業は「組織だった動きはむずかしい」が前提で、それ自体に課題が多い。長期的に、どのようにして継続性を担保できるかということ、常に意識して進めることが重要。			

※この報告書はホームページの公開を予定しております

※報告書に書ききれない場合は、別紙に記載して、本報告書に添付してください。（その場合、対象事業のみ、記載してください。）

(様式6)

活動費等明細書(1回目用)

団体名

千代田町会

項目	件名(積算根拠)	予算額 (補助対象経費)	支出額	備考
備品購入費	デジタル簡易無線機 (@25,000×8)	200,000	174,240	
報償費(講師謝礼等)				
需用費 (消耗品, 印刷製本, 修繕等)	資料・マニュアル等印刷	50,000	3,300	
役務費(通信運搬費, 手数料等)				
委託料・使用料 及び賃借料 (会場設営・賃借, 備品賃借等)				
小計(A)		250,000	177,540	
旅費(交通費等)				
小計(B) ※補助対象経費(D)の20%が上限		0	0	
その他 (団体の活動に必要な事業費)				
小計(C)		0	0	
合計D(A+B+C)		250,000	177,540	
既補助金交付額 E			100,000	
補助金交付精算額 F (D×9/10)			100,000	(上限額100,000)
戻入額 G (E-F)			0	

【記入上の注意】

支出額は別添領収書(写)の合計と合致するようにしてください。また、領収書は各項目ごとに整理して添付してください。

件名は申請時に添付した事業収支予算書または中間検査で提出した活動費中間収支報告書と同一にしてください。

申請書に記載した内容とは別に支出した場合は、申請時の件名の下欄に記入し、支出額のみ記載してください(補助事業の目的と著しく相違がある場合は補助金の対象とはなりません)。

予算額は事業収支予算書の「左記のうち補助対象経費」に記入した額を記載してください。

千代田町会 防火・防災訓練

202210232

スケジュールスケジュール

- 8:30 地震発生(想定)
- 8:45~9:15 安否確認
- 9:15~9:30 安否確認報告
- 9:30~10:30 東部消防署による各種訓練
- 10:30~11:30 防災倉庫開放

状況写真

状況写真



8:36 設営開始

千代田ふるさとセンター



本部設置開始状況

状況写真

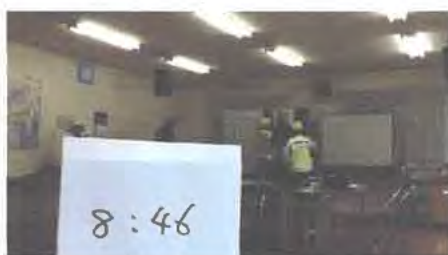


本部設置状況



本部設置状況

状況写真



8:46 災害対策本部設置完了

千代田ふるさとセンター



災害対策本部設置完了

状況写真



災害対策本部設置完了

外観



災害対策本部設置完了

外観

状況写真



災害対策本部設置完了

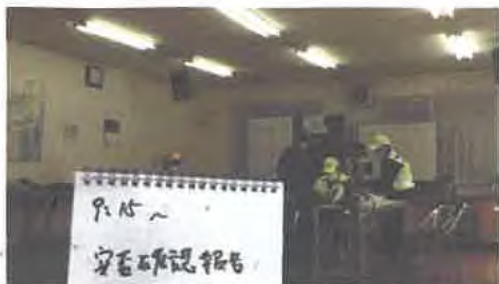
外観



9 : 15

東部消防所到着

状況写真



9:15 安否確認報告



9:16 安否確認報告

第一報連絡

トランシーバー

※入電もほぼ同時刻

状況写真



安否確認報告状況



安否確認報告状況

状況写真



9:30 安否確認中

未報告班あり



9:35 安否確認報告 最終

※本部から確認連絡

状況写真

「無事です」プレート提出状況 2022.10.25

班	戸数	提出数	提出率	記事
1	32		%	
2	40		%	
3	48		%	
4	58		%	
5	77		%	
6	40		%	
7	44		%	
8	60		%	
9	18		%	
10	53		%	
11	34		%	
12	53		%	
13	18		%	
14	52		%	
15	67		%	
16	41		%	
合計	735		%	
9/13班数	699		%	

安否確認報告完了

状況写真



10:48 防災倉庫開放



防災倉庫開放状況

まとめ

【確認ポイント】

- ・本部立ち上げスムーズに設営開始
- ・本部立ち上げ完了も予定通り
- ・トランシーバーを使用しての応答(問題なし)
- ・入電による確認(問題なし)
- ・本部への入室報告(トラブルなし)
- ・タイムスケジュール時点で未報告の班あり
 - ※組からの報告がなく直接班長が確認に行っていた
 - 発災の際はこれは多々ある事象と想定
 - 対応方法の検討材料として良い事例が発生

【メンバー構成】

災対(5名)・市コーディネーター(1名)・センター長
参加者(約35名)・消防(6名)

